Ver.1.00

Peptide Immobilizing Kit

Peptide solid phase maker for ELISA

取扱説明書

Beacle, Inc.

KYOTO　JAPAN

---- 目　次 ----

ご注意

1．本試薬は研究用試薬です。診断･臨床用試薬としては使用しないでください。

⑴　はじめに

ペプチドは、タンパク質固相化用ELISAプレートには固相化することが難しい場合があります。そのため特殊な表面処理を行ったプレート、例えばアミノ基と結合する官能基を有したアミノプレートなどが使われます。しかし特殊表面処理のプレートは価格が高く、何時も手元にあるわけではありません。Peptide Immobilizing Kit はペプチドを簡単な処理で BSA とのコンジュゲートを作らせ、高効率に通常のタンパク質固相化用 ELISA プレートに固相化するキットです。

⑵　製品内容

本製品には以下の種類があります。本マニュアルは以下の製品に適用されます。

商品番号	商品名	内容量
BCL-PIK-01	Peptide Immobilizing kit	1キット(3回分)

構成試薬

- ･BSA溶液(BSA solution for immobilization)　1本
- ･コンジュゲート反応液(Conjugate reaction Solution)　1本
- ･反応ストップ剤(Reaction Stop agent)　3本
- ･2 x 固相化バッファー(2 x Coating Buffer)　1本

⑶　保存　　4℃で保存下さい。

⑷　使用方法

1. ペプチド抗原とBSA溶液の混合

PBSに溶解したペプチドをBSA溶液(1mg/mL)と混合する。基本の混合条件はペプチド(1mg/mL) 250μLとBSA溶液 250μLですが、ペプチドにより混合比を調節して下さい。この時、全量500μLとBSA溶液 250μLを変えなければ、ペプチド濃度を2倍程度の範囲で変更しても調製可能です(注1)。

2. コンジュゲート反応液を混合液に加えコンジュゲートを形成させる。

混合液を4℃に移し、これにコンジュゲート反応液を50μL加え転倒混和し30秒放置する。同じ操作をさらに4回繰り返し、合計で250μLのコンジュゲート反応液を加える。この後、4℃で60分間反応を進ませる。なお、60分間の反応中に時々転倒混和して下さい。

3. コンジュゲート反応の停止

混合反応液を 4℃から取り出し、反応ストップ剤(粉末)の 1 回分全量を加え、反応をストップする。この時、気体(注2)が発生しますのでチューブのふたは開けておいてください。発生が終わるまで静置して下さい。

4. 固相化バッファーの添加と固相化

まず、2x固相化バッファーを精製水で2倍に希釈してください。

反応を停止したコンジュゲート液を、目的とするペプチド固相化濃度になるように固相化バッファーに加え、プレートを固相化する。固相化時間は30分以上3時間以内として下さい。

5. コンジュゲート液の保存と再利用

調製したコンジュゲート液は4℃で保存した場合、1週間以内は再利用出来ます(注3)。

【注1】 混合比や混合液量はあくまで目安です。ご自身で確認されることをお勧めします。
【注2】 発生する気体は水素です。微量ですが、火気には注意下さい。
【注3】 コンジュゲートの保存や再利用はペプチドによって異なる場合があります。

⑸　お問合せ先

株式会社ビークル　【製造･発売元】

〒607-8465　京都市山科区上花山坂尻25-10

TEL: 075-582-8505　　FAX: 075-582-6055

E-mail: technical-support@beacle.com

Website: www.beacle.com

Beacle, Inc.